

# 令和元年度どさんこ☆子ども地区会議 概要

令和2年2月発行 北海道教育庁空知教育局

令和2年1月25日（土）、空知合同庁舎4階講堂において、児童生徒が主体的にいじめ（ネットトラブルを含む）の未然防止に向けて取り組む内容を話し合い、管内や各市町における「仲良しコミュニケーション活動」の定着と充実に向けた取組を推進することを目的に、「令和元年度どさんこ☆子ども地区会議」を開催しました。管内各地から、小学生48名、中学生53名、高校生26名、合計127名の児童生徒が参加し、活発な協議が行われました。



## ～どさんこ☆子ども地区会議の様子～

### ○ 参加者交流

グループの中で、「自己紹介（学校名、学年、名前など）」、「自校のよいところ」、「自校のいじめの未然防止に向けた取組」、「どさんこ☆子ども地区会議への意気込み」の4点について交流しました。互いに質問をしている場面が見られるなど、活発な交流となりました。

### ○ グループ協議

校種別のグループで、協議テーマ「周りの人のよさを認め、他者との関わりを大切にするためにできること」を基に、「ブレインライティング」という方法で、学校や地域でできる取組を考えました。高校生が中心となって協議を進め、各グループからたくさんのアイデアが出されました。

### ○ 全体会

グループ協議後は、ベストアイデアの全体交流を行いました。参加した児童生徒は、他のグループのベストアイデアを参考に、自校の児童会や生徒会の取組の改善に向けて意欲を高めていました。



【参加者交流の様子】



【グループ協議の様子】



【全体会の様子】

### 〔地域や学校でできる取組のベストアイデア例〕

- ・小学校、中学校、高等学校の児童生徒が、勉強を教え合ったり一緒に遊んだりする交流を月に1回実施する。
- ・各学校において、学年で考えた遊びやレクリエーションを教育活動に取り入れる。
- ・テーマを決めて、全校児童生徒で共同作業に取り組む。
- ・異学年交流の取組などを学校のホームページに掲載して、地域住民に活動内容を知ってもらうように呼びかける。
- ・様々な学年や学級の児童生徒でグループをつくり、その中に地域住民を加えて、ゲームなどの交流を行う。



【グループ協議での成果物】

※グループ協議の内容や上記のアイデア例を参考にして、各市町教育委員会や各学校でのいじめ未然防止に向けた取組を充実させるようお願いします。